

熊手の西の市

十一月の西（二日）水

二の西（二四日）日（振替）

かみしろ
神代巫女の
西の市
Q&A



十一月酉の日の大鳥神社例祭にあわせて開かれる酉の市。初冬の風物詩として、当日は家内安全・商売繁昌の熊手が授与され熊手商の威勢の良い手締めが鳴り響きます。

各日とも開催を知らせる煙火が十二時十五時十八時に打ち上げられます。

A Q
酉の日って？

今年は巳年です。言うまでもなく十二支は年ごとに割り当てられ、十二年周期で十二支が一回りしています。実は同様のことが、日や時間にも割り当てられています。したがって酉の日も十二日に一度巡ってきます。十一月は三十日間ありますので、この酉の日は必ず二日はあり、年によっては三日あります。

そして最初の酉の日を「一の酉」、二番目を「二の酉」、三番目があればそれを「三の酉」と称し、大鳥神社の例祭が御奉仕されます。

A Q
熊手とは？

酉の市で授与される縁起物です。福を掻き込む、取り込むとされ、神社では御守りと稲穂を付けた「かきこめ守り」として授与しています。このほかに枳や小判、おかめといった縁起物を付けたものもあり、開運、財運、家庭円満といった御利益を求めて毎年多くの参拝者が受けて行かれます。

提灯奉納のお願い

この酉の市では、神様の「みあかし」として境内に皆様のお名前を記名した提灯を掲げております。どなたでも申し込めますので、ぜひお気軽に社務所までお問い合わせください。

大提灯（一灯） 一五〇〇〇円
小提灯（二灯） 五〇〇〇円